

## 民主主義ってなんだ？

表題と写真は話題の近刊である。とにかく面白く、一気に読んだ。本書は 1.SEALDs ってなんだ？ 2.民主主義ってなんだ？から構成されている。書きたいことは多いが、とくに印象に残った1を中心に紹介していこう。

1は「シールズの誕生物語」だ。どういふ学生らが集まり、その輪が急拡大したかに関心があったので、とにかく興味深かった。細かく紹介していくと、きりがないので付箋をつけたところだけでも抜き出しておこう。

まずは「本当に止める」というフライヤーについてだ。恥ずかしながら、この本を読むまではフライヤーという言葉を知らなかった。

最近「はやり」のあれをどう呼ぶか、じつは悩んできた。わが世代ではプラカードというのが、デモの「定番」だった。重い木製のプラカードをかついで、学生時代に松本のまちを、メーデーで名古屋のまちを歩いたものだ。あの軽そうで、格好いいものをフライヤーと呼ぶことが分かっただけで満足してしまいそう。

もう「フライヤー」だ。なんのことか？ こんなことも、つい言いたくなる。

松本のまちを私のシュプレヒコールでデモしたことがある。「本当に」。ベトナム戦争反対、沖縄を返せ、大学の民主化などと声をあげた。若かったころの話だ。

シールズの奥田愛基さんは、海外のデモのコール&レスポンスから思いつく。シュプレヒコールって、同じことをくり返して言ってるものじゃないですか。そんなの、見たことなかったから、その日本語版をやりたいと思って。その後に「民主主義ってどんな感じ？」、とかいろいろ訳をつくってみたりして。いろいろ出した中では「民主主義ってなんだ？」がしっくりきた。でも「民主主義ってなんだ？」をくりかえすのはテンポ的に言いにくい。だから「なんだ？」って言ったら「なんだ？」って返せばいいじゃんって。

とにかく若い世代から「元気」と「刺激」をもらえる本だ。一読を薦めたい。

(2015年10月22日)

